英語学論説資料収録論文一覧 第51号 (2017年分)

第1分冊 言語学英語学一般・意味論・音韻論・諸論

言語学英語学一般 (GENERAL STUDIES)

What Is Language and Where Is It Located?	Fred C. C. Peng	日本機能言語学会 (2017.10)	Proceedings of JASFL 11	1
Chomsky and Everett	Naoki ARAKI	広島工業大学紀要	研究編 51 (2017.2)	9
言語学と歴史学の共通点 ―ことばを研究する私が歴史を学ぶ学生に伝えられること―	藤 森 千 博	別府大学紀要	58 (2017.2)	14

意味論 (SEMANTICS)

SET一句動詞の相的機能について	山 本 史歩子	青山学院大学教育人間科学部紀要	8 (2017)	21
英語における文的名詞句の出現に関する一考察：意味機能の二面性と文構造の多様化	佐々木 一 隆	宇都宮大学 外国文学	65 (2016.12)	27
意味論における演算についての一考察	三 藤 博	大阪大学大学院 言語文化共同研究プロジェクト 2015 自然言語への言語学的アプローチ (2016.5)		32
Geis-Ambiguity and Tense in Adjunct Clauses	Kiyomi Kusumoto	関西学院大学 英米文学	61 (2017.3)	37
A Study on Learning How to Use the English Preposition <i>ON</i> by Applying Cognitive Approaches to Japanese Learners	Remi KAWARYU Narahiko INOUE Sangmok LEE	九州大学大学院言語文化研究院言語研究会 言語科 学 52 (2017.3)		46
英語の不可算抽象名詞の意味について	嶋 田 裕 司	群馬県立女子大学紀要	38 (2017.2)	54
Temporal Metaphors in English, Japanese and Spanish: With Special Reference to the Vertical Axis, the Horizontal Axis, and the Slope Model	Hidehiko NEGI	言語研究学会 言語の世界	34-2 (2016.12)	63
-ing形節：「分詞構文」に代わる新しい文法用語	秦 正 哲	言語文化学会論集	48 (2017.7)	70
How do typological studies reveal semantic nature of English prepositions?	Kazuyuki Yamaguchi	シルフェ英語英米文学会 シルフェ	56 (2017.2)	86

動詞のアスペクトと瞬時性について —スケール構造を導入した語彙の意味表示の一考察—	磯野 達也	成城大学社会イノベーション研究 11-2 (2016.3)	91
英語の比喩表現の理解 —プライマリー・メタファーの観点から—	沖本 正憲	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017.3)	98
認知文法に基づく品詞の概念的定義に関する一考察	井口 智彰	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017.3)	104
助動詞shouldの意味の統合的説明に向けて：中心的意味からの拡張	中澤 紀子	大東文化大学紀要 55 人文科学 (2017.3)	110
軽動詞構文と意味のネットワーク	緒方 隆文	筑紫女学園大学 研究紀要 12 (2017.1)	118
時制の解釈を分けるアスペクト特性について：英語の状態性から見た試論	原田 依子	東京電機大学総合文化研究 13 (2015.12)	125
不定詞補部節の時制解釈におけるモダリティについて	金子 義明	東北大学文学会 文化 79-3・4 (2016.3)	129
英文理解の心理プロセス	中西 弘	東北学院大学論集 —英語英文学— 101 (2017.3)	138
英語の冠詞及び名詞形の指導における認知意味論の応用可能性	森本 俊	常磐大学人間科学部紀要 人間科学 34-2 (2017.3)	142
関連性理論とメタファー —より一般的な説明をめざして—	内田 聖二	奈良大学紀要 45 (2017.2)	147
英語ワードペア表現の5つのタイプと意味変化	青木 繁博	新潟青陵大学短期大学部研究報告 46 (2016.4)	155
Somethingの意味と機能	松倉 信幸	日本英語英文学会 英語と文学、教育の視座 (2015.12)	161
物語テキストにおける感情表現分析	飯村 龍一	日本英語教育英学会 LEORNIAN 21 (2017.12)	166
子供向けの物語における文法的メタファーのはたらき	飯村 龍一	日本英語教育英学会 英語学・英語教育研究 22-36 (2017.3)	176
句構造規則の集大成 Ray Jackendoff, <i>X Syntax: A Study of Phrase Structure</i> . Cambridge, Mass.: The MIT Press, 1977. xii+249pp.	加藤 正治	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 9 関西英文学研究 10 (2017.1)	191
不定詞の概念構造と概念的従属	佐々木 昌太郎	函館英語英文学会 函館英文学 55 (2016.3)	194
A consideration of empathy in English inversions: examining Prince (1981, 1992) and Birner (1994, 2004)	Shigeru Matsumoto	函館英語英文学会 函館英文学 56 (2017.3)	203
受動文の補文認識における間接性について	佐々木 昌太郎	函館英語英文学会 函館英文学 56 (2017.3)	210
find+that節構文の認知的分析	友澤 宏隆	一橋大学 言語文化 54 (2017)	218

eternal, permanent, perpetualの対照意味分析	鳥居孝栄	福島工業高等専門学校 研究紀要 57 (2017.2)	224
order, command, directionの対照意味分析	鳥居孝栄	福島工業高等専門学校 研究紀要 58 (2017.12)	227
文法的振る舞いに着目した多義的別義の認定	高橋圭介	北海道教育大学函館人文学会 人文論究 85 (2016.3)	230
意味、複合性、そして応用言語学	柳瀬陽介	明海大学大学院応用言語学研究科紀要 応用言語学研究 19 (2017.3)	236
形容詞一言語類型論と認知言語学からの眺め その1	仲本康一郎	山梨大学教育学部紀要 1 (2017.3)	242
形容詞一言語類型論と認知言語学からの眺め その2	仲本康一郎	山梨大学教育学部紀要 1 (2017.3)	247
認知言語学・用法基盤モデルの誕生の背景からみる特徴と第二言語習得研究への応用	橋本ゆかり	横浜国立大学 横浜国大言語研究 35 (2017.3)	250
Two Types of Double Object Constructions in English: An Explication of Oehrlé's (1976) Observation	Shiro Takeuchi	麗澤大学大学院 言語と文明 15 (2017.3)	257

音韻論 (PHONOLOGY)

Stigma of a U-Turn Japanese Professor Teaching Oral English in Classroom	Kimiko AKITA	愛知県立大学大学院国際文化研究科論集 18 (2017.3)	264
ヘンデルの英語作品の歌詞の扱い —英語の発音変化の視点から	粉山陽子	愛知県立芸術大学紀要 46 (2017.3)	271
弱母音の<u>のための発音規則	横谷輝男	青山学院大学英文学会 英文学思潮 90 (2017.12)	278
現代版「連接」の言語学的・教育学的意義 —日本人英語学習者のための音声教育における音声・音韻習得論的考察—	大山健一	青山学院大学英文学会 英文学思潮 90 (2017.12)	292
<e, i>が引き起こす硬口蓋歯茎化のための発音規則	横谷輝男	青山学院大学文学部紀要 59 (2017)	296
聴覚印象の過大化による英語音声の聴解エラー	犬塚博彦	岩手大学英語教育論集 18 (2016.3)	307
効果的な音声指導項目の提示とは —高等学校英語教科書分析から—	柳田綾	桜花学園大学学芸学部研究紀要 Journal of the School of Liberal Arts 9 (2017)	312
Focused Listening: Are There Problems with It?	Michael "Rube" Redfield	大阪経大論集 66-6 (2016.3)	320
Improving Productive Speaking Skills	Jennifer Rose Smith	大阪樟蔭女子大学 英語と文化 7 (2017.3)	323

アメリカテレビニュース英語の音声特性 —音響分析から	山根 繁	関西大学外国語学部紀要 17 (2017.10)	328
中学校用教科書ガイドにおける発音表記の扱い	河内山 真理 有本 純	関西国際大学教育総合研究所 教育総合研究叢書 10 (2017.3)	337
‘F’と‘Woman’の発音を学生にどう教えるか	井上 久夫	関西学院大学教育学会 教育学論究 9-2 (2017.12)	343
イギリス英語の特徴	百武 玉恵 浅田 壽男	九州ルーテル学院大学 紀要 VISIO 47 (2017)	346
文法指導における内容語・機能語導入の試み —発音・意味の観点から—	林 智昭	近畿大学 教養・外国語教育センター紀要 外国語 編 8-2 (2017.11)	353
外国語としての英語(EFL)の読解における音読の役割	藤永 史尚	近畿大学文芸学部論集 文学・芸術・文化 28-1 (2016.9)	361
<i>The Lego Movie</i> の翻訳過程における音声変化に関する一考察	安達 励人	倉敷市立短期大学研究紀要 60 (2017.3)	369
英語の発音表記と音声指導の方向性	柴田 知薫子	群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 65 (2016.2)	374
音節／モーラと長母音の日英比較	柴田 知薫子	群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 66 (2017.2)	379
英語の音声学習と指導	出世 直衛	國學院大學 國學院雑誌 118-6 (2017.6)	384
A new hiragana／English chart	Marcus Theobald	志學館大学人間関係学部 研究紀要 38 (2017.1)	391
Is the Shadowing Method Effective in Improving Accentedness and Intelligibility?	NAKAYAMA Tomokazu	実践女子大学CLEIPジャーナル 2 (2016.3)	396
Listening Comprehension Skills Teaching Methods in Japanese Tertiary Education: Referring to <i>Power-Up English <Pre-Intermediate></i>	Masayo KANNO	四天王寺大学紀要 65 (2017)	401
Bilingualism and Speech Perception: a Case of L3 Consonant Clusters	Yuriko Yokoe	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 63 (2015.12)	406
英語リスニングにおけるテキストへの親密性の一考察 —テキストが親しみ深い物である 場合それがどうリスニングに影響を及ぼすか—	金子 史彦	信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センタ ー紀要 教育実践研究 16 (2017.9)	415
英語の/ɪ/の消失について	藤原 保明	聖徳大学大学院 言語文化研究 16 (2017.12)	420
英語音読モニタリングの自律化 —音読道場の開設—	奥崎 真理子 鳴海 雅哉	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017.3)	428

英音と米音：topの母音について	松島 龍太郎	創価大学英文学会 英語英文学研究 81 (2017.12)	434
小学校英語活動に資する発音指導マニュアルの作成に向けて —英語音声指導の実態調査と教科書分析を基に—	上斗晶 代 三宅美鈴 西尾由里	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 14 (2017.3)	443
A Preliminary Phonetic Study of Tag Questions in English	Tsutomu WATANABE	拓殖大学語学研究 136 (2017.3)	453
英語と日本語における主語の位置について —音韻論の観点から—	神谷 昇	千葉大学教育学部研究紀要 66-1 (2017.12)	478
発音とリズム —学校文法を超えて(2)—	平出 昌嗣	千葉大学教育学部研究紀要 66-1 (2017.12)	482
借用された異形態性はどこまで音韻論的か	多賀 吉隆	津田塾大学紀要 49 (2017.3)	486
小学校外国語教育における音声指導目標の検討	和田 あずさ	東京大学大学院教育学研究科紀要 56 (2017.3)	492
Age Effects in L2 Learning in Foreign Language Contexts: focusing on phonology	Kio, Iwai	東京経営短期大学紀要 25 (2017.3)	499
音声表記再考	今仲 昌宏	東京成徳大学研究紀要 人文学部・応用心理学部 24 (2017.3)	510
A Study on the Intonation Used in a Speech by President Obama	Sayako MIYAUCHI	東洋大学人間科学総合研究所紀要 19 (2017.3)	516
英語発音指導とリスニング指導：洋楽を活用した実践報告	下山 幸成	東洋学園大学紀要 25 (2017.3)	525
日本人大学生を対象とした音素認識の難易調査	赤塚 麻里 山見 由紀子	名古屋外国語大学現代国際学部紀要 13 (2017.3)	531
Influence of Accurate Pronunciation on Correctness of Spelling in Written English —Does Accurate Pronunciation Lead to Correct Spelling?—	Astha Tuladhar Mari Akatsuka	名古屋外国語大学現代国際学部紀要 13 (2017.3)	538
英語の強勢について(その9)	田中 章	新潟経営大学紀要 23 (2017.3)	547
和製カタカナ英語から実例で示す真正英語へ(XXII)	山崎 千秋	日本大学経済学部 研究紀要 一般教育・外国語・保健体育 75 (2014.1)	554
ヒラリー・クリントンの演説における音声技巧の研究	山上 登美子	日本大学大学院 英語英文学論叢 38 (2017.3)	560
English Pronunciation: Intelligibility, Comprehensibility, and Accentedness	Lorraine Reibold	白鷗大学教育学部論集 11-1 (2017.5)	568
Epenthesis Positioning and Syllable Contact in English and French	Hideo KOBAYASHI Peter M. SKAER	広島大学大学院総合科学研究科紀要 I 人間科学研究 12 (2017.12)	574

Phonetic Tendencies in Naming Pets	Mayumi Kido	福岡女学院大学英語教育研究センター The Centre for the Study of English Language Teaching JOURNAL 5 (2017. 3)	582
How to Teach English Phonetic Components to Speakers of Japanese: A Review of Previous Studies	Shoji Mitarai Norie Moriyoshi	藤女子大学人間生活学部紀要 54 (2017. 3)	590
母音と子音の間で	城 生 佰太郎	文教大学 文学部紀要 29-2 (2016. 3)	602
日本語音韻史術語の英訳に関する研究(3)	鈴木 豊 川崎 清	文京学院大学総合研究所紀要 16 (2016. 3)	618
The Durational Ratio of Short and Long Vowels in Hawaiian: A Preliminary Investigation	Tsutomu SATO	明治学院大学 英米文学・英語学論叢 132 (2017. 2)	629
A Study of "An English Pronouncing Dictionary for Japanese Students" (1923) by Sanki Ichikawa (No.3)	Nagaki Kitayama	山形県立米沢女子短期大学紀要 53 (2017. 12)	636
第二言語習得における音韻の習得Ⅱ —山梨市特区初等英語教育における母音習得の音響音声学的解析—	長瀬 慶 來 長瀬 恵 美	山梨大学教育学部紀要 1 (2017. 3)	644
Auditory Discrimination of Content and Function Words: A Pilot Study	Brennen L. Terrill	横浜市立大学論叢 人文科学系列 68-3 (2017)	650
Is Native-Speakerism Dead?: Japanese English Language Learners' Perceptions About Ideal English Accents to Learn	Masakazu Mishima	立教大学ランゲージセンター紀要 38 (2017. 10)	660
日本人の間違いやすい英語摩擦音/f v θ δ/ —サウンドスペクトログラムによる音響的特徴の比較—	津 熊 良 政	立命館大学大学院 Studies in Language Science Working Papers 6 (2016. 12)	667
日本人の間違いやすい英語母音/æ, ʌ, ə, ɜ:, ɑ:/ —サウンドスペクトログラムによる音響的特徴の比較—	津 熊 良 政	立命館大学大学院 Studies in Language Science Working Papers 7 (2017. 12)	679
Phonetic realization of a sequence with "and" and a word beginning with a vowel	Kyoko Hayashi	了徳寺大学研究紀要 11 (2017)	690
Lの母音化(l-vocalization)について	中 道 嘉 彦	麗沢大学英米文化研究会 麗沢レビュー 23 (2017. 9)	696
小学校英語教育へのフォニックス導入に関する一考察	尾 上 利 美	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 67 (2017. 2)	702
諸 論 (MISCELLANEOUS)			
外国語教育への思いと期待 —鼻高1964年組織委員会英語通訳奮闘記—	加 藤 忠 明	江戸川大学紀要 27 (2017. 3)	706

フレーミングとしての社内英語公用語化	岡本 真由美	関西学院大学商学研究会 商学論究 64-4 (2017. 3)	710
イギリスにおける「やさしい英語(Plain English)」運動 —その発展の経緯と要因—	角 知行	天理大学人権問題研究室紀要 19 (2016. 3)	719
言語学から文化記号学へ —文法範疇としての名詞の《数》と表象の営為における絵画の技法との相同性—	松崎 祐介	日本大学英文学会 英文学論叢 64 (2016. 3)	728
The Future of English	Jeffrey C. Miller	白鷗大学教育学部論集 11-1 (2017. 5)	740
ニホン英語(<i>Open Japanese</i>)の類型化研究 —日本人の言語観・言語教育観(台湾統治時代の日本語普及政策から)—	末延 岑生	兵庫県立大学 人文論集 52 (2017. 2)	758
国際語としての英語における標準語イデオロギーと規範主義	行森 まさみ	立教大学大学院 異文化コミュニケーション論集 15 (2017. 3)	778
米国軍政府・民政府の「世界語としての英語」普及プロパガンダ	石原 昌英	琉球大学法文学部国際言語文化学科欧米系 言語文化研究紀要 26 (2017. 10)	785

第 2 分冊 文法・語彙・辞書

文法 (GRAMMAR)

The Availability of Parasitic Gaps and the Presence of Syntactic Movement in Japanese Headed Relative Clauses	Yasuyuki KITAO	愛知大学人文社会学研究所 文學論叢 153 (2016. 3)	1
受益二重目的語構文のカテゴリ拡張に関する覚書	南 佑 亮	大阪大学 Osaka Literary Review 55 (2017. 1)	14
On the Unified Approach of Syntax to Resultatives	Masashi YAMAGUCHI	大阪大学大学院 待兼山論叢 49 文学篇 (2015. 12)	24
Intervention effects in answerhood	S a t o m i I t o	お茶の水女子大学 人文科学研究 13 (2017. 3)	36
A Note on A-bar Dependency and the Theory of CP-Recursion	Hiroyuki Ura	関西学院大学 英米文学 60 (2016. 3)	43
A Note on Copy Raising Constructions in English: A-Resumption Approach	Keiichiro Kobayashi	関東学院大学 科学／人間 46 (2017. 3)	54
<i>there</i> 構文におけるDPの定性制限と言語獲得	團 迫 雅 彦	九州大学言語学論集 36 (2016. 3)	68
The Syntax of <i>If</i> -Clauses: Six Subtypes of Adverbial <i>If</i> -Clauses	Kiyoko Takaba	九州大学大学院 九大英文学 59 (2017. 3)	75
二重目的語構文における所有関係再考 ―形式と意味との対応関係―	登 田 龍 彦	熊本大学教育学部紀要 66 (2017. 12)	95
『英語の文法と語法』の構想	篠 崎 一 郎	言語研究学会 言語の世界 35-2 (2017. 12)	104
名詞句からの外置とラベルシステム	古 川 武 史	甲南英文学会 甲南英文学 31 (2016. 9)	132
On Exceptional Verb Movement in Present-Day English	Takuya Inui	甲南英文学会 甲南英文学 32 (2017. 7)	142
形容詞と動作主名詞との結合についての一考察	月 足 亜由美	甲南女子大学研究紀要 文学・文化編 53 (2017. 3)	160
大学生英語学習者による英語後置修飾構造の難易度	平 井 愛	神戸学院大学共通教育センター 共通教育研究紀要 2 (2017. 3)	166
クジラの公式の謎を解く	本 多 啓	神戸市外国語大学 神戸外大論叢 67-3 (2017. 11)	173
軽動詞(light verb)構文の諸相	野 呂 健	國學院大學 Wapurgis 2017 (2017. 2)	189
英語の間接疑問縮約についての動的考察	現 影 秀 昭	埼玉学園大学紀要 人間学部篇 17 (2017. 12)	199

母語獲得の視点で見る相互代名詞の統語構造	小町 将之 大 瀧 綾乃	静岡大学人文社会科学部 人文論集 67-2 (2017. 1)	207
英語の存在文のthereの文法化	藤原 保明	聖徳大学 研究紀要 聖徳大学 27 聖徳大学短期 大学部 49 (2017. 3)	215
不特定のthisについて —文法化の観点から— 英語受動態の指導について	東 裕美 藤本 和子	専修大学学会 専修人文論集 101 (2017. 11) 創価大学英文学会 英語英文学研究 79 (2016. 9)	220 227
The Linguistic School of Prague and Functionalism	Kenji INOMATA	大東文化大学大学院 Paulownia Review 23 (2017. 3)	238
結果構文とカテゴリー	緒方 隆文	筑紫女学園大学 人間文化研究所年報 28 (2017. 8)	243
動詞likeの経験者格の史的変遷	竹田 道代	鶴見大学大学院 鶴見英語英米文学研究 18 (2017. 3)	251
英語の相対時制について —学校文法に新たな視点—	三村 浩一	帝塚山学院大学 人間科学部研究年報 18 (2016. 12)	262
離接詞と非制限的關係詞節再考	岩田 良治	天理大学学报 69-1 語学・文学・人文・社会・自 然編 (2017. 10)	266
competenceとperformance —文法と言語処理— Markedness and Argument Structure	中井 悟 Satoshi IMAMURA	同志社大学英語英文学研究 98 (2017. 9) 東北大学言語学論集 24 (2016. 3)	* 276
不定詞節における動詞句省略 かき混ぜ規則は不要である	島 越郎 高橋 直彦	東北大学文学会 文化 81-1・2 (2017. 9) 東北学院大学教養学部論集 176 (2017. 3)	281 289
言語学, 英語学習, そして人工知能 直接引用文の埋め込み構造	安井 美代子 廣江 颯	獨協大学英語研究 78 (2017. 3) 長崎大学言語教育研究センター論集 5 (2017. 3)	302 310
英語のTough構文について On the Derivation of That-Relative Clauses and Reduced Relative Clauses	山本 幸一 Takahiro TOZAWA	名古屋外国語大学現代国際学部紀要 13 (2017. 3) 日本英語英文学会 日本英語英文学 27 (2017. 12)	314 325
学習英文法考察 —英語未来表現—	松尾 真太郎	日本英語英文学会 日本英語英文学 27 (2017. 12)	337

前置詞残留と右枝節点繰上げに関して —フェイズ理論の枠組みから	田 中 公 介	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 7 九州英文学研究 31 (2015. 1)	346
Pied-Piping in Survive-minimalism	Minoru Fukuda	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 7 九州英文学研究 31 (2015. 1)	351
How to Label <i>There</i> -Constructions	GOTO Nobu	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 9 東北英文学研究 7 (2017. 1)	358
On Ellipsis in the Left Periphery: A View from Transfer	Totsuka Masashi	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 9 東北英文学研究 7 (2017. 1)	364
Cecchetto, Carlo and Caterina Donati (<i>Re</i>)labeling. Cambridge, Mass.: MIT Press, 2015, xiii+190pp.	小 町 将 之	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 9 中部英文学 36 (2017. 1)	368
対格付与子と外項基底生成位置の相対的な高さについて —受動態を中心に	田 中 裕 幸	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 9 関西英文学研究 10 (2017. 1)	370
有限状態オートマトンによる文の解析と生成	新 田 義 彦	日本大学経済学部 経済集志 84-2 (2014. 7)	374
形式文法による擬似文の生成	新 田 義 彦	日本大学経済学部 経済集志 84-3 (2014. 10)	384
An Aesthetic View of Poetic Sentences via Functional Grammar	NITTA, Yoshihiko	日本大学経済学部 研究紀要 一般教育・外国語・ 保健体育 77 (2015. 1)	398
英語における擬似部分構造への文法化と共時的変動 ～動物の群を表す語を対象に～	福 田 薫	函館英語英文学会 函館英文学 55 (2016. 3)	408
There存在文における定表現再考	友 繁 義 典	兵庫県立大学環境人間学部研究報告 19 (2017. 3)	420
Chomsky's I-language and E-language	Naoki ARAKI	広島工業大学紀要 研究編 51 (2017. 2)	426
記号的文法観としての認知文法の思考法 —言語の記号的側面の再考—	對 馬 康 博	藤女子大学 文学部紀要 54 (2017. 3)	431
Grammaticalization as Space Creation: A New View of Grammaticalization	Fuyo OSAWA	法政大学文学部紀要 75 (2017. 9)	453
抜き出しを許す付加詞について	福 田 稔	宮崎公立大学人文学部紀要 25-1 (2017)	460
極小主義プログラムと応用言語学	瀧 田 健 介	明海大学大学院応用言語学研究科紀要 応用言語学 研究 19 (2017. 3)	470
Transfer as Self Pair-Merge	Toru Ishii	明治大学文学部紀要 文芸研究 129 (2016. 3)	480
“After Twenty Years”に観察されるTaxonomic Relations	三 宅 英 文	安田女子大学 英語英米文学論集 26 (2017. 1)	495
Wh島の制約違反と連続的段階性	杉 山 正 二	安田女子大学 英語英米文学論集 26 (2017. 1)	503

語彙・辞書 (LEXICOLOGY・DICTIONARY)

Vocabulary Acquisition—English Place-Names: Britain, England and UK(1)	TAMOTO Kenichi	愛知大学語学教育研究室紀要 言語と文化 37 (2017. 7)	515
An Analysis of <i>Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English</i> , Ninth Edition	KAZUO DOHI YUKIYOSHI ASADA MARINA ARASHIRO RUMI TAKAHASHI TETSUO OSADA TAKASHI KANAZASHI	岩崎研究会 LEXICON 47 (2017. 6)	*
日英語名詞表現の語彙概念拡張と項・付加詞の非対称性	岡田 禎之	大阪大学大学院文学研究科紀要 56 (2016. 3)	525
Word Formation Processes of <i>A-ishness</i> and <i>A-ishly</i> : A Construction-Based Approach	Yuki KIKUCHI	大阪大学大学院 待兼山論叢 51 文学篇 (2017. 12)	546
BNC高頻出5・4・3品詞多義語の多義構造の記述	宮畑 一 範	大阪府立大学 言語文化科学研究 言語情報編 12 (2017. 3)	556
英語品詞転換の定義と適用	木村 卓人	学習院大学大学院 人文科学論集 26 (2017. 10)	580
「空腹の」を意味する形容詞の成句化	田中 実	関西学院大学 英米文学 61 (2017. 3)	594
Recognition of English Loanwords (waseigo) Among Japanese University Students	James GODDARD	北里大学一般教育紀要 22 (2017. 3)	600
「スーパー大辞林」234語の「一な」付加される英語借用語の語彙範疇化	野中 博雄	桐生大学紀要 27 (2016. 12)	605
新旧学習指導要領下での高校英語教科書語彙の比較	坂田 直樹	久留米大学外国語教育研究所紀要 24 (2017. 3)	612
英語の名詞語尾-s — 複数より基礎的なその意味について—	嶋田 裕司	群馬県立女子大学 英米文化研究 7 (2017. 1)	621
グローバル化のもとで中国人の名を日本語でどう呼ぶべきか	森田 浩一	甲南女子大学研究紀要 文学・文化編 53 (2017. 3)	631
<i>The American Heritage First Dictionary</i> の語義と連想についての一考察	田淵 博文	就実大学・就実短期大学 就実論叢 45 (2016. 2)	636
Understanding Meaning: Defining Expectations in Vocabulary Teaching	Richard Pinner	上智大学 Lingua 27 (2017. 2)	641

『CO CET2600』を活用した語彙学習の実践報告 —科目横断型学習における語彙定着の検証—	瀬川直美 山本長紀 岩崎洋一	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017. 3)	651
語彙教材作成に向けた基礎的研究 —TOEICの単語分析—	八鳥吉明 大野佳代子	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017. 3)	656
<i>Longman Dictionary of Contemporary English</i> 第6版の‘functional language’の分析 —モダリティ表現について—	藤本和子	創価大学英文学会 英語英文学研究 80 (2017. 3)	662
日本出自英語語彙再考	大和田 栄	東京成徳大学研究紀要 人文学部・応用心理学部 24 (2017. 3)	678
英和辞典の頻度に関する記述：20世紀前期	土肥 一 夫	東京都市大学共通教育部紀要 10 (2017. 3)	683
イングランドの気候地名：Buckinghamshire及びEast Riding of Yorkshire and York —基礎データの作成—	宅間 雅 哉	東京未来大学研究紀要 9 (2016. 3)	696
人名を第1要素とするイングランドの地名A～B：人名の形態に基づく出現傾向の分析	宅間 雅 哉	東京未来大学研究紀要 12 (2017. 12)	701
語義解釈力の効果的な伸ばし方	大本 道 央	常葉大学健康プロデュース学部雑誌 10-1 (2016. 3)	704
写真で見る和英辞典の歴史—三省堂新クラウン和英辞典の場合	鈴木 聡	鳥羽商船高等専門学校紀要 39 (2017. 2)	712
日本人EFL大学生の語彙学習方略使用に関する考察	倉増泰弘 水田 弘文	梅光学院大学論集 49 (2016. 1)	716
英語形容詞シノニム研究 —immediateとinstant—	多田羅 平	広島大学大学院総合科学研究科欧米文化研究会 欧米文化研究 24 (2017. 12)	724
自律した語彙学習につながる英英辞書の効用	金 志 佳代子	兵庫県立大学 人文論集 52 (2017. 2)	734
オンライン英語語彙力診断テストの開発	与那覇 信 恵 Leah Gilner	文京学院大学総合研究所紀要 17 (2017. 3)	741
植物の学名、英名、和名(30) (Lens—Lolium)	舘 山 碧	北海道医療大学人間基礎科学論集 43 (2017. 11)	745
Effects of English Learning and Use on Color Imagery in Japanese L2 Users of English	Goro MURAHATA Keisuke MURAHATA Yoshiko MURAHATA	宮崎大学教育学部紀要 人文科学 89 (2017. 8)	760
中学校英語における辞書指導について	福 田 稔	宮崎公立大学人文学部紀要 24-1 (2017. 3)	767

医学系専門用語における接辞と語の境界：新古典複合語分析から見えてくるもの	林 弘 美	明治薬科大学研究紀要 人文科学・社会科学 46 (2017. 3)	774
<i>Subway</i> か、 <i>Underground</i> か？ —英米語間真逆の真相に挑む—	菅 野 憲 司	和洋女子大学英文学会誌 50 (2016. 3)	782

* ……論説資料のページ数の制約により、掲載できなかった長大な論文

第 3 分冊 語法・語用論・文体論

語法 (USAGE)

英語概説における英語コーパス学習の導入についての一考察	山本 史歩子	青山学院大学教職研究 2 (2016. 4)	1
大学生の英作文におけるコロケーション	山本 史歩子	青山学院大学教職研究 3 (2017. 4)	7
イギリス英語における離接詞 <i>likely</i> の用法 —1600年代から1900年代後半までの変遷—	大津 智彦	大阪大学 英米研究 41 (2017. 3)	13
Rethinking the labels <i>phrasal verb</i> and <i>verb-preposition combination</i> applied to “bamboozle type” multi-word verbs	Ashlyn MOEHLE	大阪大学大学院 言語文化共同研究プロジェクト 2016 認知・機能言語学研究 II (2017. 5)	23
Focus Particles in Comparative Sentences	Eri TANAKA	大阪大学大学院 待兼山論叢 51 文学篇 (2017. 12)	29
英語コーパス利用の実例分析研究ノート2 —コロケーションとしての‘good and’と‘nice and’が使用される表現—	西村 道信 森 本 雅博	大手前大学論集 16 (2016. 3)	40
形容詞 <i>relaxed</i> と <i>relaxing</i> に関する記述的研究	杉山 桂子	小山工業高等専門学校研究紀要 50 (2017. 12)	52
コーパスに基づく英語の身近な疑問の解決 —no wonderを例に—	梅 咲 敦子	関西学院大学商学研究会 商学論究 64-6 (2017. 3)	57
On Restrictive Relative Clauses in English	Norimasa Hayashi	九州大学大学院 九大英文学 59 (2017. 3)	69
Recent Changes in the Use of the Verb <i>forbid</i>	Yoko Iyeiri	京都大学文学部研究紀要 56 (2017. 3)	82
Context-Containing Constructions: Why can we interpret an expression infinitely?	Taro Okahisa	京都大学大学院 言語科学論集 22 (2016. 12)	95
“the reason is because”は非標準用法か?	八木橋 宏 勇	杏林大学 外国語学部紀要 29 (2017. 3)	106
Systemic Linguistic Analysis of a Breaking News English Article and Comparison with a Thematically Similar Authentic Article	Barry Condon	近畿大学 教養・外国語教育センター紀要 外国語編 8-1 (2017. 7)	112
コーパスを利用した現代英語におけるhow COME S倒置文と疑問詞how come構文の分析	金原 いれいね	釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究 29 (2017. 3)	120
“Not or don't, that is the question.”: <i>I hope not</i> vs. <i>*I don't hope so</i>	松 瀬 憲 司	熊本大学教育学部紀要 66 (2017. 12)	134
「オールド・スポーツ」はどう訳すべきか?	浅 川 友 幸	国際文化表現学会 国際文化表現研究 13 (2017. 3)	139

英作文における英文法と語句使用の誤りに関する一分析 —Power-Up English <Pre-Intermediate>を実例にして—	神野 雅代	四天王寺大学紀要 64 (2017.9)	151
感嘆詞としてのas ifの語法	井上 徹	成城大学 成城文藝 240 (2017.6)	157
コーパス分析によるディズニー映画の英語字幕から探る新旧作品の比較 —「ふしぎの国のアリス」と「アリス・イン・ワンダーランド」から—	長橋 雅俊	聖徳大学大学院 言語文化研究 16 (2017.12)	165
フレーズと補文 —フレーズ補文の実態解明をめざして—	住吉 誠	摂南大学 摂大人文学 24 (2017.1)	171
each otherとone anotherの語法(8) —Penryn & the End of Daysの場合—	松島 龍太郎	創価大学英文学会 英語英文学研究 79 (2016.9)	182
each otherとone anotherの語法(9) —Lorien 5, 6, 7の場合—	松島 龍太郎	創価大学英文学会 英語英文学研究 80 (2017.3)	196
現代アメリカ英語における'sick to/at/in/on one's/the stomach'について	田口 純 田島 松二	筑紫女学園大学 研究紀要 12 (2017.1)	206
現代アメリカ英語における'iced/ice tea [coffee, water]'について	田口 純 末松 信子 田島 松二	筑紫女学園大学 人間文化研究所年報 28 (2017.8)	211
英米の文学作品に見られる言語思想的動詞の活用変化	後藤 弘樹	中央大学経済研究所年報 49 (2017.10)	217
THE SYNTACTIC STRUCTURE OF PASSIVIZED IDIOMS IN ENGLISH	TAKAKO FURUYA	津田塾大学 The Tsuda Review 62 (2017.12)	235
Iとyouが関係する表現について	前原 由幸	帝京大学宇都宮キャンパス 研究年報人文編 22 (2016.12)	243
状況のitについて	前原 由幸	帝京大学宇都宮キャンパス 研究年報人文編 23 (2017.12)	251
【NP by which】構文を使いこなすために必要なもの —理解と記憶のメンタル・コーパス—	平沢 慎也	東京大学言語学論集 38 (2017.9)	258
Itの連続体：外部照応ItからIt分裂文まで	湯本 久美子	東京大学言語学論集 38 (2017.9)	271
「形容詞+前置詞+wh疑問節」における前置詞の出現	阿戸 昌彦	東京学芸大学紀要 人文社会科学系 I 第68集 (2017.1)	288
英語科学技術論文において頻出する名詞と他動詞のコロケーション	清水 眞	東京理科大学紀要 教養篇 49 (2017.3)	295
British National Corpus-XML Editionに関する一考察	名倉 秀人	東洋大学大学院紀要 52 文学研究科 哲学・イン ト哲学仏教学(仏教学)・英文学・史学・教育学・英 語コミュニケーション専攻 (2016.3)	308

語法研究：actuallyを考える	木内 修	東洋大学大学院紀要 53 文学研究科 ト哲学仏教学・英文学・史学・教育学・英語コミュニ ケーション専攻 (2017.3)	316
Taggerについての一考察	名倉 秀人	東洋大学大学院紀要 53 文学研究科 ト哲学仏教学・英文学・史学・教育学・英語コミュニ ケーション専攻 (2017.3)	324
語彙の共起性について	深谷 充佳	東洋大学大学院紀要 53 文学研究科 ト哲学仏教学・英文学・史学・教育学・英語コミュニ ケーション専攻 (2017.3)	332
同格の研究	三ツ石 直人	東洋大学大学院紀要 53 文学研究科 ト哲学仏教学・英文学・史学・教育学・英語コミュニ ケーション専攻 (2017.3)	341
Examining the Language of Advice-Giving: A Study of the Verb <i>Recommend</i>	Phillip R.MORROW	名古屋学院大学論集 言語・文化篇 28-2 (2017.3)	349
A study of the language of advising: The verb <i>suggest</i>	Phillip R.MORROW	名古屋学院大学論集 言語・文化篇 29-1 (2017.10)	355
『人称代名詞論：三人称単数(女性)を中心に』	菅原 俊也	日本英語教育英学会 英語学・英語教育研究 22-36 (2017.3)	360
英語の叙述的所有表現の獲得に関する予備的考察：動詞 <i>have</i> を含む発話文の分析から 過去、今、未来の話を英語で	松藤 薫子	日本獣医生命科学大学研究報告 65 (2016.12)	365
定義文に用いられる動詞 <i>involve</i> について	テルキ デイブ	白鷗大学教育学部論集 10-1 (2016.5)	370
「現代の神話」についてのコーパス文体論的意味分析 — <i>Colorless Tsukuru Tazaki and His Years of Pilgrimage</i> と <i>The Great Gatsby</i> を題材に—	友澤 宏隆	一橋大学 言語文化 53 (2017.3)	390
To Split Infinitives, or Not: A Case of Protracted Linguistic Anxiety	瀬良 晴子	兵庫県立大学 人文論集 52 (2017.2)	398
“In a Bus” or “on a Bus”	TURNER, Paul	福岡大学言語教育研究センター紀要 16 (2017.11)	405
より良い学習英文法の構築に向けて —同格節に着目して—	白谷 敦彦	福岡大学人文論叢 48-4 (2017.3)	410
「英語語法の実態」	高橋 保夫	北海道文教大学論集 18 (2017.3)	419
「着く」「到着する」と訳されない動詞 <i>arrive</i>	北山 長貴 福井 慶一郎	山形県立米沢女子短期大学紀要 52 (2016.12)	423
	出水 孝典	立命館大学英米文学会 立命館英米文学 26 (2017.1)	429

Effects of computer-mediated communication on learners' phrasal verbs and their negotiation	Natsuyo SUZUKI	早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 24-1 (2016. 9)	442
語 用 論 (PRAGMATICS)			
Critical Discourse Analysis: Current Approaches and the Advent of Multimodality	Damien OKADO-GOUGH	愛知県立大学外国語学部 MULBERRY 67 (2017. 8)	450
Politeness and University Student Online Communication	Chris HARWOOD	愛知県立大学外国語学部 紀要 49 言語・文学編 (2017. 3)	458
Need Statements as Directives	Mary Goebel Noguchi	関西大学 英米文学英語学論集 6 (2017. 3)	464
話し言葉に対する意識を高めるための言語活動の意義と方法 —文法教材調査を通して—	山 崎 のぞみ	関西外国語大学 研究論集 106 (2017. 9)	483
Portmanteau Construction and Bound Morphemes in Japanese/English Code-Switching	Teruaki Muto	関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 25 (2016. 3)	493
語用論から異文化間コミュニケーションへ —語用論統合モデルに向けて—	西 光 義 弘	関西学院大学商学研究会 商学論究 64-6 (2017. 3)	500
日・英語会話におけるトピックの発展と聞き手の役割	岩 田 祐 子	国際基督教大学 語学研究 30 (2016)	510
A Hidden Semantic Property in Epistemic Modal Expressions	Ken-ichiro Kamachi	志學館大学人間関係学部 研究紀要 37 (2016. 1)	519
英語の主語の人称代名詞の省略と丁寧表現についての一考察	藤 原 正 道	実践女子大学CLEIPジャーナル 3 (2017. 3)	526
ポライトネスから見た日本人英語学習者の“I think”使用	小 田 希 望	就実大学英文学会 就実英学論集 33 (2017. 1)	531
When Is the Right Time to Use Implicatures? —Native Speakers' Perspective on Pragmatically Appropriate Responses in English—	Mariko Yoshida	上智大学 SOPHIA LINGUISTICA 63 (2015. 12)	539
Self-repair and self-monitoring with the editing term <i>well</i> in narrative in view of stance	Tomoko ISAKITA	同志社大学グローバル地域文化学会 紀要 9 (2017. 10)	551
Words and Morality: Richard Trench's Theory on the English Language	YOSHIDA, Akiko	東洋大学大学院紀要 53 文学研究科 哲学・イン ド哲学仏教学・英文学・史学・教育学・英語コミュ ニケーション専攻 (2017. 3)	565
日本語及び英語における申し出表現と関連性について	梅 香 公	常磐大学コミュニティ振興学部紀要 コミュニティ 振興研究 24 (2017. 3)	572

誇張表現として解釈される結果構文に関する一考察 —認知意味論的および語用論的観点に基づく分析—	新 妻 明 子	常葉大学短期大学部紀要 48 (2017.12)	579
距離感をもたらす英語表現 —効果的な文法指導法を求めて—	松 本 知 子	長崎国際大学論叢 17 (2017.3)	585
口語英語研究(8) 命令や依頼の表現に関して	木 戸 充 Stuart J. SANDERSON	日本獣医生命科学大学研究報告 65 (2016.12)	591
「なわ張り理論」に基づく英語直示動詞 <i>bring</i> における到達点の特質	岡 良 和	人間環境大学 人間と環境 8 (2017.12)	599
『不思議の国のアリス』に見られる談話標識 —英々辞典(POD, LDOCE)で読み解く—	下 笠 徳 次	山口学芸大学 山口学芸研究 8 (2017.3)	605
Pragmatics-Grammar Interface in Pragmalinguistic Awareness and Learning	TAKAHASHI Satomi	立教大学異文化コミュニケーション学部 ことば・ 文化・コミュニケーション 9 (2017.3)	618
Multi-Word Sequences in Legal Discourse	TORIKAI Shinichiro	立教大学異文化コミュニケーション学部 ことば・ 文化・コミュニケーション 9 (2017.3)	631
『検察側の証人』のメタ語用論的分析	堀 田 知 子 稲 木 昭 子 沖 田 知 子	龍谷大学 龍谷紀要 38-2 (2017.3)	649

文体論 (STYLISTICS)

Implementing English-Medium Instruction in the Context of World Englishes	Akiko Ikeda	亜細亜大学学術文化紀要 30 (2016)	654
Authentic Reading on Business News Articles	Tetsu SUZUKI	桜花学園大学学芸学部研究紀要 Journal of the School of Liberal Arts 8 (2016)	659
Nineteenth Century British History and English Literature: An Analysis of the Sherlock Holmes Adventures	N. J. Walters	鹿児島純心女子大学 国際人間学部紀要 23 (2017.3)	666
文体論を読み直す—最新の研究動向について—	奥 聡一郎	関東学院大学 科学/人間 46 (2017.3)	676
メッセージを解読する —Bernard Malamudの“The German Refugee”における語りの構造—	井 崎 浩	九州地区国立大学教育系・文系研究論文集 5-2 (2017)	681
The Development of Australian English —How historical events influenced attitudes towards English varieties and local sociolects—	Robert GEE	相山学園大学研究論集 47 人文科学篇 (2016.3)	686
From Norn to Scots: Language Shift in the Northern Isles of Scotland	Yumi Yokota	東京家政大学 英語英文学研究 23 (2017.9)	692
英語文学作品における自由間接話法の心的処理	橋 高 眞一郎	佛教大学 文学部論集 101 (2017.3)	699

観光英語(10)：神奈川県と静岡県の観光名所、箱根、静岡、浜松、伊豆などに見られる案内板の英語	福 島 一 人	文教大学 情報研究 55 (2016. 7)	711
観光英語(11)：京都市の観光名所、清水寺、鹿苑寺、慈照寺に見られる案内板の英語	福 島 一 人	文教大学 情報研究 56 (2017. 1)	727
観光英語(12)：京都市の観光名所、龍安寺、仁和寺、賀茂御祖神社、賀茂別雷神社に見られる案内板の英語	福 島 一 人	文教大学 情報研究 57 (2017. 7)	739
ブルネイの言語事情	木 下 裕 昭	和洋女子大学英文学会誌 50 (2016. 3)	751
インドの英語事情	木 下 裕 昭	和洋女子大学英文学会誌 51 (2017. 3)	773

第4分冊 比較研究・史的研究・英学・言語文化

比較研究 (CONTRASTIVE STUDIES)

翻訳の哲学における三つのパラダイム	ロサ・オムラティグ	愛知県立大学外国語学部 紀要 48 言語・文学編 (2016. 3)	1
The Challenge of Language Translation when One of the Languages is Baseball	Kimiko Akita Rick Kenney	愛知県立大学高等言語教育研究所年報 ことばの世界 8 (2016. 3)	5
表象文化の翻訳 —「蓮如上人舊跡絵図」を読み解く—	大森 裕 實	愛知県立大学通訳翻訳研究所年報 1 ことばの世界 9 (2017. 3)	9
A Sociolinguistic Survey of Canadian English	REIMANN Andrew	宇都宮大学国際学部研究論集 44 (2017. 9)	15
日本語の固有語と高級語彙の使い分けについて —英日通訳の授業から—	小倉 慶 郎	大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究 15 (2017. 2)	18
The Rescuing Effect of the Focus Particle <i>dake</i> 'only'	Kenta MIZUTANI	大阪大学大学院 待兼山論叢 50 文学篇 (2016. 12)	25
Translation Studies: Shifts in Domestication and Foreignisation in Translating Japanese Manga and Anime (Part One)	Matthew Watson	鹿児島純心女子短期大学研究紀要 47 (2017. 1)	36
"Don't Worry no Kuni": Problems in Translation and their Solutions	Nicholas Musty	関西学院大学 エクス 言語文化論集 10 (2017. 3)	41
Clause-embedding in Japanese: <i>to</i> vs. <i>koto</i> alternation	Kiyomi KUSUMOTO	関西学院大学人文学会 人文論究 67-3 (2017. 12)	51
英文との対照から見た芥川龍之介の文体 —三人称代名詞「彼／彼女／彼等」、文末詞「である」について—	澤 西 祐 典	京都大学文学部国語学国文学研究室 国語国文 85-6 (2016. 6)	66
翻訳シフトと翻訳者の意識／無意識に関する予備的考察	河 原 清 志	金城学院大学論集 人文科学編 13-1 (2016. 9)	76
日英対照言語学の基礎にかんする覚書	篠 崎 一 郎	言語研究学会 言語の世界 35-1 (2017. 6)	84
翻訳文における情報提示の順序について —日本語連体修飾節と英語関係節の対照から—	大 島 資 生	首都大学東京 人文学報 513-11 日本文学 (2017. 3)	101
学校文法を超えて(1) —日本語との比較から見た英語—	平 出 昌 嗣	千葉大学教育学部研究紀要 65 (2017. 3)	116

日本語の名詞修飾節の分類について：英語表現との対応から考える(下)	八 木 孝 夫	東京学芸大学 英學論考 46 (2017.12)	121
BORROWED OR TRANSLATED? —ACCEPTABILITY OF CHRISTIAN TERMS	MICHIKO OGURA	東京女子大学 英米文学評論 63 (2017.3)	132
関係代名詞節指導に関する再考察 —日英語比較研究と教材開発をめざして— 翻訳学への招待	中 岡 典 子	東京立正短期大学紀要 43・44 (2016.3)	140
エッセイ—日本語と英語	古 川 弘 子	東北学院大学論集 —英語英文学— 101 (2017.3)	154
日英語の修辭疑問をめぐって —言語の普遍性と多様性の探索(1)—	藤 田 永 祐	獨協大学英語研究 78 (2017.3)	158
Students' Awareness of Translation Competence: A Text-mining Approach	稲 田 俊 明 今 西 典 子	長崎大学言語教育研究センター論集 4 (2016.3)	162
英語の単純現在形(-o/-s)及びモンゴル語の単純非過去形(-na)に関する考察 —意味・用法を中心に—	Midori SHIKANO	南山大学 アカデミア 文学・語学編 101 (2017.1)	174
翻訳における意味の変容	MANDAKH Oyunchimeg	西日本言語学会 ニダバ 44 (2015.3)	185
Japanese Culture in Translation: A Case Study of Three Novels	新 田 義 彦	日本大学経済学部 経済集志 84-1 (2014.4)	191
脳内現象としての言語 —日本語の感覚・英語の感覚の根源的基盤—	Anthony Tobin	日本大学法学部 桜文論叢 92 (2016.10)	200
俳句の日英語による認識・表現の固有性と柔軟性の双方向を意識して —古典文法と認知文法から見た融合性についての考察—	濱 田 英 人	函館英語英文学会 函館英文学 56 (2017.3)	215
英語を用いた国語・古典授業の試み —ドナルド・キーン英訳『徒然草』序段の活用—	小 林 邦 子	姫路大学 教育学部紀要 9 (2016.12)	223
英文和訳において語順の違いを引き起こす語彙：単語、単語の品詞、文型における単語 の機能	朝 倉 和	広島商船高等専門学校紀要 39 (2017.3)	229
ヨーロッパの概念を日本語にどう翻訳するか —Plurilingualism/pluriculturalism 概念の日本語訳をはじめとして—	横 山 知 幸	広島市立大学 広島国際研究 23 (2017.11)	234
初対面会話におけるナラティブの評価：聞き手の評価の日・英語対照研究	山 川 智 子	文教大学 文学部紀要 30-2 (2017.3)	243
英訳される日本文学	岩 田 祐 子	立教大学 応用社会学研究 58 (2016.3)	255
	由 尾 瞳	早稲田大学多元文化学会 多元文化 7 (2017)	262

史的研究 (HISTORICAL STUDIES)

A Historical Study of Some Conjugational Variants of Irregular Verbs in Present-day English	KOIKE Kazuo	桜美林大学 桜美林論考 言語文化研究 8 (2017. 3)	267
古英語から現代英語に至るly副詞の歴史的発達について	田 畑 圭 介	神戸親和女子大学言語文化研究 11 (2017. 3)	275
英語史は役に立つか? —英語教育における英語史の貢献—	田 辺 春 美	成蹊大学文学部学会 成蹊英語英文学研究 21 (2017. 3)	286
preventの補部における動詞的動名詞の歴史的発達	中 川 聡	豊田工業高等専門学校研究紀要 48 (2016. 1)	296
強変化動詞から弱変化動詞へ鞍替えた動詞	小 池 一 夫	日本英語教育英学会 英語学・英語教育研究 22-36 (2017. 3)	302
On the Historical Development of <i>During</i>	Minoru FUKUDA	宮崎公立大学人文学部紀要 25-1 (2017)	311

古英語 (OLD ENGLISH)

ラテン語deservireの訳語としての古英語þegnianについて	石 原 覚	愛知県立大学外国語学部 紀要 49 言語・文学編 (2017. 3)	316
The Influence of Latin on Word Order Variation in the Old English <i>Orosius</i>	Shigeyuki Kobayashi	聖学院大学総合研究所紀要 62 (2016. 11)	327
Syntactic Development and Verb-Final Word Order in Early Old English Main Clauses	Shigeyuki KOBAYASHI	聖学院大学論叢 30-1 (2017. 10)	340
古英語の本文批評と <i>Beowulf</i> (12)	網 代 敦	大東文化大学 英米文学論叢 48 (2017. 3)	347
Old English <i>wār</i> as Seaweed	Noriko Unebe	東京家政学院大学紀要 57 (2017. 8)	360
ロマンス語語彙におけるゲルマン語の通時的影響 —10世紀までのロマンス語語彙と古英語—	上 野 貴 史	広島大学大学院文学研究科論集 76 (2016. 12)	365
The Clause-Initial <i>nu</i> in the Old English <i>Genesis B</i>	ISHIGURO Taro	明治大学教養論集 530 (2017. 12)	378

中英語 (MIDDLE ENGLISH)

中英語神秘主義散文における魂と身体の言語表現	片 見 彰 夫	青山学院大学 青山スタンダード論集 12 (2017. 1)	383
------------------------	---------	--------------------------------	-----

—「『粉碾き屋の話』の序と物語」用語索引(3)—	東 好 男	大阪産業大学論集 人文・社会科学編 30 (2017. 6)	401
John Trevisa's Middle English Translation of Ranulph Higden's <i>Polychronicon</i> Based on Senshu University Library, MS 1-A Diplomatic Edition(6)	Kazutomo Karasawa Kazutaka Fukuda	駒澤大學文學部研究紀要 75 (2017. 3)	422
ME/eu/とME/ɛu/の融合について	平 郡 秀 信	中京大学 国際教養学部論叢 9-2 (2017. 3)	453
Emotional Expression in Chaucer: With Special Reference to <i>herte</i>	Hideshi Ohno	広島大学英文学会 英語英文学研究 61 (2017. 3)	471
<i>The Romaunt of the Rose-AとTroilus and Criseyde</i> に見られるganの比較	岩 國 智 子	広島大学文学研究科英文学会 PHOENIX 76 (2017. 3)	480
The Matrix Reeve-Loaded I: Dismantling Biases and Evaluating Diagrams of Relationships between Chaucer's <i>Reeve's Tale</i> , <i>The Mylner of Abyngton</i> , and Other Cradle-Trick Stories	D. JONES	福井大学教育・人文社会系部門紀要 1 (2017. 1)	494
sweteの文脈と意味 —Chaucerの「尼僧院長の話」の場合—	中 尾 佳 行	福山大学 大学教育論叢 3 (2016)	505
チョーサーの話法の意味論 —『トロイラスとクリセイデ』における話法の多次元構造—	中 尾 佳 行	福山大学 大学教育論叢 4 (2017)	512

近代英語 (MODERN ENGLISH)

<i>Pamela</i> の言語についての覚書	村 田 和 穂	有明工業高等専門学校紀要 52 (2016. 10)	523
初期近代英語における動詞の命題補部 —特に現代英語において、動名詞補部はとるが不定詞補部はとらない動詞についての定量言語学的アプローチ—	藤 内 響 子	九州情報大学研究論集 18 (2016. 3)	533
初期近代英語における動詞の命題補部についての定量言語学的研究	藤 内 響 子	九州情報大学研究論集 19 (2017. 3)	540
近代英語における、命令法で「待て」を表す動詞群の用法と通時的競合	山 崎 聡	千葉商科大学国府台学会 千葉商大紀要 54-2 (2017. 3)	549
Hamletについて(その2)	田 中 章	新潟経営大学紀要 23 (2017. 3)	568
初期近代英語における動詞の命題補部：特に現代英語において不定詞および動名詞の補部をとる動詞についての定量言語学的アプローチ	藤 内 響 子	日本比較文化学会 比較文化研究 120 (2016. 2)	573

英学 (ENGLISH STUDIES)

日本最初期英語研究書の依拠資料と編集	田野村 忠 温	大阪大学大学院 待兼山論叢 51 文化動態論篇 (2017. 12)	579
Turning the Clock Back to the Meiji Era? Japan's English Education Policy	MORIZUMI, Fumi	国際基督教大学 教育研究 58 (2016. 3)	598
英学とプラグマティズム —19世紀後半の日米間に見る「実学」思想の重層的構造への視座—	小 林 敏 宏	拓殖大学人文科学研究所 人文・自然・人間科学研究 37 (2017. 3)	602
『英和对訳袖珍辞書』における計量に関する邦訳語の考察	三 好 彰	東京大学言語学論集 電子版 38 (2017. 9)	614
和蘭字彙が和英辞書をはじめとする諸外国語辞書作成に与えた影響に関する一考察	鈴 木 聡	鳥羽商船高等専門学校紀要 39 (2017. 2)	626
明治の国際人：浅田栄次の英語教育論と現代	五十嵐 二 郎	函館英語英文学会 函館英文学 55 (2016. 3)	629

言語文化 (LANGUAGE AND CULTURE)

Some Problems in Exploring the Traits of Sound-Symbolism: A Case Study of Verbs of Crying	Yoshiharu KUMAGAI	愛知県立大学外国語学部 紀要 49 言語・文学編 (2017. 3)	637
Does Repetition Create Humor?	Sachiko Kitazume	近畿大学大学院文芸学研究科紀要 渾沌 14 (2017. 7)	645
なぜ「へそが茶を沸かす」のか?	中 島 信 夫	甲南英文学会 甲南英文学 30 (2015. 7)	655
Challenges of Multilingual Notation in Comparative Food Culture Research —The case of translating 'soy sauce' across Japanese, English, Korean, Thai and Vietnamese—	Nami Fukutome Lucy Takato Misa Otsuka	実践女子大学短期大学部紀要 38 (2017. 3)	666
言語・文化に関する題材の一考察 —英語教員採用試験の長文読解問題から—	吉 野 康 子	順天堂大学国際教養学部紀要 順天堂グローバル教養論集 1 (2016. 3)	672
A Rose by any Other Name: A Contemporary Assessment of the Scope of Linguistic Relativity Hypothesis	Richard Pinner	上智大学 英文学と英語学 53 (2017. 2)	677
Water Myths and Mysteries: Tales of Cats, Dogs and Kelpies	アラン メドウズ	聖徳大学言語文化研究所 論叢 24 (2017. 3)	686
文化的反義語 —英語の実例集—	山 田 政 通	拓殖大学語学研究 137 (2017)	695
「ことば」と「文化」のつながりを意識した英語学習 —英語への興味・関心を高める、教科書の活用—	黄 俐 嘉	東京学芸大学教職大学院年報 5 (2016)	714

事態把握のあり方と文化の関連性をめぐって	尾野 治彦	函館英語英文学会 函館英文学 56 (2017.3)	721
A Survey on Language and Identity in an Irish Context(II): Attitudes towards language shift	Tamami Shimada	明海大学大学院応用言語学研究科紀要 応用言語学 研究 19 (2017.3)	738
A Cross-linguistic Study of Types of Jokes	KADOOKA Ken-Ichi	龍谷大学 龍谷紀要 38-1 (2016.9)	752
The Fox And The Hare English Hunting Songs	Simon ROSATI	龍谷大学 龍谷紀要 38-1 (2016.9)	761

第 5 分冊 英語教育

英語教育 (TEFL)

Practical English Instruction for Pharmacists: Explaining How to Administer Medications	Glenn D. GAGNÉ	愛知学院大学 語研紀要 41-1 (2016. 1)	1
英語の教室活動に対する中学生の本音 ―英語嫌いにしないためのヒント―	稲 葉 みどり	愛知教育大学大学院・静岡大学大学院教育学研究科 共同教科開発学専攻 教科開発学論集 4 (2016. 3)	10
Theories of Learning: In Support of L2 Collaborative Writing	Richard Mark NIXON	愛知県立大学外国語学部 MULBERRY 67 (2017. 8)	17
大学言語教育観に適應する多角的学習英文法の新展開	大 森 裕 實 北 尾 泰 幸 今 井 隆 夫	愛知県立大学高等言語教育研究所年報 ことばの世界 8 (2016. 3)	25
通訳基礎力のための新聞活用：学生が選ぶ「今週のニュース」	袖 川 裕 美	愛知県立大学通訳翻訳研究所年報 1 ことばの世界 9 (2017. 3)	40
学校文法における「仮定法」指導の再検討	勝 股 行 雄	愛知文教大学 教育研究 7 (2017. 3)	46
英語で専門科目を教える：課題と展望	杉 本 清 香	青山学院大学 青山スタンダード論集 11 (2016. 1)	52
Effects of native and foreign languages on speakers' vocal impressions	Sumi Shigeno	青山学院大学心理学会 青山心理学研究 15 (2016. 3)	65
私的英語史から考察する「協同学習」のありかた ―学習内容にふさわしい「学び」の形態を求めて―	山 田 昇 司	朝日大学一般教育紀要 40 (2016. 3)	69
英語という「ことばの教育」におけるICT活用の実践と考察	佐 藤 玲 子	亜細亜大学課程教育研究紀要 5 (2017)	83
小学校英語に対する学習者の態度は中学校で変化するのかわ	猪 井 新 一	茨城大学教育学部紀要 教育科学 64 (2015)	87
英語教育特区への小学校早期英語教育の導入から学べるもの	猪 井 新 一	茨城大学教育学部紀要 教育科学 65 (2016)	95
Teaching Japanese EFL learners literary devices using Martin Luther King Jr.'s I Have a Dream speech	Frederick Allan SHANNON	茨城大学人文学部紀要 人文コミュニケーション学 科論集 20 (2016. 3)	102
A cross-cultural comparison of how students in Japan, China, Russia, Ghana and Saudi Arabia feel about their interpersonal skills and the impact this may have on English language teaching	Ronald SCHMIDT-FAJLIK	茨城大学人文学部紀要 人文コミュニケーション学 科論集 20 (2016. 3)	110

複言語主義は言語教育の何を変えたか	福田 浩子	茨城大学人文学部紀要 科論集 22 (2017. 3)	人文コミュニケーション学	123
Student-Teacher Professional Development in the English Teaching Methodology Classes	James M. Hall Takahiro Kudo Ayano Tanaka Tomoko Yamazaki	岩手大学英語教育論集 18 (2016. 3)		135
スーパーサイエンスハイスクール制度における英語科教育の実態調査	Nesme, Aurore 山崎 友子	岩手大学英語教育論集 18 (2016. 3)		145
応用力を高める英語教材を考える ―リスニング力の向上に注目して―	安藤 則夫 長谷川 修治	植草学園大学研究紀要 9 (2017. 3)		150
Does Visualization Support Listening Comprehension in Bottom-Up Listening Tasks?	MCDONALD Peter	桜美林大学 桜美林論考 (2016. 3)	言語文化研究 7	156
英語科指導法に接続可能なアクティブ・ラーニングを取り入れた文学教育の可能性	倉林 秀男	桜美林大学教職課程年報 11 (2017. 3)		164
Syntactic Competence and Writing Performance: From Longitudinal Perspective	TSUTADA Kazumi	大阪大学言語文化学会 (2016. 3)	言語文化学 25	166
The Effectiveness of Using Songs in English Classes at Junior High Schools in Japan	KAGATA Tetsuya OURA Shiori	大阪教育大学教科教育学会 (2016. 3)	教科教育学論集 15	175
An ICT-based Approach to English Education	Michihiro Yamane	大阪国際大学紀要 国際研究論叢 30-1 (2016. 10)		179
Improving writing through X-Word grammar	Steve Cornwell	大阪女学院大学紀要 14 (2017)		187
新カリキュラム「アカデミック・イングリッシュ」における学習成果に対する学習者の自己評価に関する調査	宮永 千恵子	大阪府立大学高等教育推進機構 (外国語教育センター) 論文集 言語と文化 15 (2016. 3)		192
Genre-based Instruction in a Graduate-Level English Academic Writing Course	Mayumi Fujioka	大阪府立大学高等教育推進機構 (外国語教育センター) 論文集 言語と文化 16 (2017. 3)		209
A Suitability Evaluation of Textbook Contexts Introducing Grammar	Takehiko Ito	大妻女子大学英文学会 大妻レビュー 50 (2017. 7)		217
英語学習における動機づけとして英語版アニメ・ドラマを活用することについての一考察 ―英語カフェ実施を通して―	石田 美佐江 西川 憲一	岡山理科大学紀要 52B (2017)	人文・社会科学	226
中等英語教育における異文化理解教育実施可能性の検討 ―検定教科書における文化多様性とグローバルイシューに関する分析―	奥西 有理 木村 純子	岡山理科大学紀要 53B (2017)	人文・社会科学	233

英語教育のコア・カリキュラム(試案)の汎用性の検証へ向けて	川上典子	鹿児島純心女子大学 国際人間学部紀要 23 (2017. 3)	237
中学校における英語によるフォニックス指導の実践(1) —フォニックスルール導入の工夫とその成果—	堀江美智代 園元恭子	鹿児島純心女子短期大学研究紀要 47 (2017. 1)	246
Validating the Kwassui English Placement Test Using the TOEIC IP	Andrew Gorringe	活水女子大学 活水論文集 文学部編 59 (2016. 3)	256
‘Small Cultures’ in Context of English Language Teaching Innovation	Mark HAMMOND	金沢大学外国語教育論集 外国語教育フォーラム 11 (2017. 3)	259
日本の外国語教育における「間言語理解」の意義について	粕谷雄一	金沢大学国際基幹教育院外国語教育系 言語文化論叢 21 (2017. 3)	263
日本で英語で授業を教えることに関する一考察：米国式教授法の課題と課題への対処法	伊藤大将	金沢大学留学生センター紀要 19 (2016. 3)	277
The Use of Chunk-based Reading in English Language Teaching	Narumi Yokono	金沢星稜大学学会短期大学部会 星稜論苑 45 (2016. 12)	285
日英バイリンガル文法テストの開発： 多読とのかかわりにおける文法能力の発達を測定する	吉澤清美 高瀬敦子 大槻きょう子	関西大学外国語学部紀要 16 (2017. 3)	296
初めての英語発音指導 —英語の歌を歌おう—	李春喜	関西大学外国語学部紀要 16 (2017. 3)	305
新入生の英語力と英語教育に対する提言	上野輝夫	関西福祉大学社会福祉学部研究紀要 19-1 (2016. 3)	313
The Effects of Font on Vocabulary Memorization	Evan CACALI	KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY HUMANITIES REVIEW 21 (2017. 2)	319
Word Association in Japanese Learners of English	Nicholas MUSTY	KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY HUMANITIES REVIEW 21 (2017. 2)	325
A Case for an ESP Constructivist Approach to Teaching English Writing Courses at Science and Technology Universities	Erik FRITZ	KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY HUMANITIES REVIEW 21 (2017. 2)	331
Establishing Constructivist Principles for a Preschool English Curriculum in a Japanese University —A foundation study on activities in a newly formed early childhood English program—	WALSH, Anthony	環太平洋大学研究紀要 10 (2016. 3)	337
公立中学校における内容言語統合型プロジェクト学習の試み	内山工	神田外語大学大学院紀要 言語科学研究 22 (2016. 3)	342
事態把握と外国語教育	長加奈子	北九州市立大学基盤教育センター紀要 25 (2016. 3)	349

International Communication —An in depth look at activities used to facilitate English communication between Japanese and foreign university students— 芸術系ESP教育 映画を用いたパブリック・スピーキング指導	Carlos Guillermo GARCIA II	吉備国際大学研究紀要 人文・社会科学系 26 (2016. 3)	357
学習指導要領の改訂に伴う日本と韓国の中学校英語教科書本文の難易度に関する研究	山下友子 冬野美晴	九州大学基幹教育院 基幹教育紀要 2 (2016. 3)	362
Is a Native-like Accent in a Foreign Language Achievable? Examining Neurological, Sociological, Psychological, and Attitudinal Factors	清永克己 志水俊広	九州大学大学院言語文化研究院言語研究会 言語科学 51 (2016. 3)	365
A Polyglot's Perspective on the Age Factor in Foreign Language Acquisition	Timothy Dean Keeley	九州産業大学経営学論集 26-4 (2016. 3)	372
Suggestions for the Teaching of Writing: From Students' Reflective Narratives of English Writing Practices	Timothy Dean Keeley	九州産業大学経営学論集 27-1 (2016. 7)	390
Waiting to Speak: Supporting Japanese University Students in Intercultural Initial Interactions	Yutaka Fujieda	共愛学園前橋国際大学論集 17 (2017)	403
多読学習用リーダー・コース構築と分析：学習者が感じる「難しさ」の解明へ向けて	Kate Maher	京都外国語大学 SELL 33 (2017. 3)	410
Japanese Students' Perceptions of Peer Corrective Feedback in an EFL Classroom	加野 まきみ	京都産業大学論集 人文科学系列 49 (2016. 3)	418
The Textbook Selection and Evaluation Process for an Intermediate Level English Oral Communication Course	Bradley D.F. COLPITTS	京都産業大学論集 人文科学系列 49 (2016. 3)	428
An Exploration of the Goal Orientations of Japanese EFL Learners	Cameron ROMNEY Michael HOLSWORTH	京都産業大学論集 人文科学系列 49 (2016. 3)	436
An analysis of extracts of <i>The Godfather</i> using speech act theory and its implications for the EFL classroom	James G. WONG	京都産業大学論集 人文科学系列 50 (2017. 3)	445
米国の児童向けソーシャルスキルブックに見る英語会話の前提—インタラクションを目指した英語教育のための一考察—	ANDREWS, Robert	京都産業大学論集 人文科学系列 50 (2017. 3)	458
英語教育改革におけるCLILの役割	大谷 麻美	京都女子大学 人文論叢 65 (2017. 1)	470
大学英語授業におけるオンライン英会話利用の効果	沖原 勝昭	京都ノートルダム女子大学研究紀要 46 (2016. 3)	483
学習辞典・文法書の盲点となっているbe動詞の機能について	小林 輝美	杏林大学 外国語学部紀要 29 (2017. 3)	490
	北村 一真	杏林大学研究報告 教養部門 34 (2017. 2)	505

The Development of a Phonological Awareness Test for Japanese Learners of English	Paul Joyce	近畿大学 教養・外国語教育センター紀要 外国語編 7-1 (2016. 7)	511
Considerations on the Use of Oral Reading as Informal Assessment in the EFL Classroom	Fumihisa Fujinaga	近畿大学文芸学部論集 文学・芸術・文化 29-1 (2017. 9)	521
A Program for Developing Conversation Skills in English	KOIZUMI Yusa	国立音楽大学 研究紀要 52 (2017)	532
英語教育における認知プロセスを促す発問についての考察 テキストの発問分析を通して	中西 千春	国立音楽大学 研究紀要 52 (2017)	538
Visualizing the Concept of the ZPD in Language Education	Richard S. LAVIN Yukari NAKANO	熊本県立大学大学院 文学研究科論集 10 (2017. 9)	545
A Qualitative Approach to Investigate Japanese EFL Learners' Willingness to Communicate in English: Stages of Research Methods	Kyosuke SHIMAMURA	久留米大学外国語教育研究所紀要 22 (2015. 3)	552
L1 Transfer of the Mass-Count Distinction in Japanese-English Interlanguage メアリー・シェリーの <i>Frankenstein</i> —グレイディッド・リーダーの解釈—	Mari UMEDA 横山 孝一	群馬県立女子大学紀要 37 (2016. 2) 群馬工業高等専門学校 群馬高専レビュー 34 (2016. 3)	564 573
学部および大学院に於ける英語学教育に関する考察 文字を読めることと意味がわかることはどう関係しているのか —EFL環境における入門期の文字指導— 「なぜ」を大切にする英語教育 —大学教職課程の授業を例に—	大月 実 中村 典生 吉野 康子	言語研究学会 言語の世界 35-1 (2017. 6) 言語文化学会論集 46 (2016. 7) 言語文化学会論集 48 (2017. 7)	580 587 594
Vocabulary Selection in TOEIC textbooks: compared with Word lists 「医科大学における英語教育の改善に向けてIV—動詞アスペクトを通して—」	Emiko Matsumoto 奥藤里香 小川一美	言語文化学会論集 49 (2017. 12) 言語文化学会論集 49 (2017. 12)	600 606
Speech Act Data and the Teaching of English Speaking to Japanese Students	Reiko Ono	神戸海星女子学院大学 研究紀要 55 (2017. 3)	613
Instructional Experiment on Teaching Compliments and Responses to EFL Learners	Michael Greisamer	神戸学院大学人文学会 人間文化 H&S 42 (2017. 12)	619
Telling Stories to Children: The Waldorf/Steiner Education Approach	Brian D. Bresnihan	神戸市外国語大学外国学研究 90 (2015. 12)	639

Exploring, reflecting, and taking action through forms of 'practitioner research' and why professional development through research is essential for teachers and teaching	Ian Nakamura	神戸市外国語大学外国学研究所研究年報 53 (2016. 3)	645
「英語文献演習1」を振り返る：リーディングとコミュニケーションの接点を探る	高屋景一	國學院大學 Walpurgis 2017 (2017. 2)	660
テクノロジーと英語教育 —教えない英語教育を目指して—	菅原安彦	國土館大學教養論集 80 (2017. 1)	672
Planning for Second Language Oral Production	James Wolf	駒澤大学 Journal of Global Media Studies 17・18 (2016. 3)	681
An Overview of Dornyei's L2 Motivational Self System	Plaza, Taron	駒沢女子大学 研究紀要 22 (2015. 12)	684
英語学習者動機づけと自己調整学習への一考察：English Workshop受講者を例に	橘田布佐子 井戸桂子 杉長ジャッキー	駒沢女子大学 研究紀要 22 (2015. 12)	688
Use it or Lose it II More Activities for Letting Children Use English With Some Ideas to Help You Develop More	Michael Brinkman	埼玉女子短期大学研究紀要 33 (2016. 3)	693
英語と文化を学ぶための英語文学 —文学作品を英語・文学・文化の学習のために統合的に活用する—	中林正身	相模女子大学紀要 81 (2017)	701
The Influence of CEFR on English Language Education in Japan	Mark Graham FENNELLY	四国大学紀要 人文・社会科学編 46 (2016)	710
学校英文法を超えて	内田 恵	静岡大学教育学部研究報告 教科教育学篇 48 (2017. 3)	718
Is SPT Effective on Learning English Grammar?	CHIKAYAMA Kazuhiro SUZUKI Akio	実践女子大学CLEIPジャーナル 3 (2017. 3)	724
What is CLIL and How can it be Implemented in Local Society?	Tomokazu Nakayama	実践女子大学文学部 紀要 59 (2017. 3)	731
英文和訳を介在させた現代日本語文法の導入教育について ～学校文法の復習も兼ねて～	高橋 純	島根県立大学短期大学部松江キャンパス研究紀要 56 (2017. 2)	738
Creating Authentic Assessments for the Communicative Language Classroom: Exploring the Issues	David James Townsend	就実大学英文学会 就実英学論集 33 (2017. 1)	742
英語習熟度の経年比較：2015年の結果の考察	設楽優子 向後朋美	十文字学園女子大学紀要 46 (2016. 3)	750
中学校英語科における協働的な対話の検討 —関係代名詞の授業談話分析—	東條弘子 吉岡 順子	順天堂大学国際教養学部紀要 順天堂グローバル教養論集 1 (2016. 3)	762

日本人大学生のショート・エッセイにおける言語的特徴	水 澤 祐美子	上智大学 <i>Lingua</i> 27 (2017.2)	770
Systemic Theoretical Instruction for EFL Learners: Improving the Accuracy of Modal Verb Use	Kentaro Ochi	上智大学 <i>SOPHIA LINGUISTICA</i> 66 (2017.12)	779
授業内英語多読の効果と参加者読書記録から読み取れたこと —日本人大学生クラスの場合—	木 村 啓 子	尚美学園大学総合政策研究紀要 27 (2016.3)	791
日本人英語学習者におけるPhonic Generalizationsの応用性	小 原 弥 生	尚美学園大学総合政策論集 22 (2016.6)	800

(第6分冊に続く)

第 6 分冊 英語教育

英語教育 (TEFL) (承前)

Japanese EFL Writers' Perceptions of the Effects of Direct and Indirect WCF on Language Acquisition	Yoshimasa Ogawa	昭和女子大学近代文化研究所 学苑 918 (2017. 4)	1
認知言語学の知見を活かした英語使役動詞 <i>have</i> の教授法とその教育的効果	藤原 隆史 池 聡 花崎 美紀 花崎 一夫	信州大学教職支援センター 教職研究 9 (2016. 12)	14
Cook-It-Yourself Dining in the English Language Classroom	Colleen Dalton	信州大学総合人間科学研究 11 (2017. 3)	19
大学英語プレゼンテーション教育への提案： グローバル社会で活躍する社会人の英語プレゼンテーションの調査からの一考察	田村 朋子 野村 佑子	清泉女子大学言語教育研究所 言語教育研究 9 (2017. 7)	24
The Practice of In-class Writing Activities and Examination of the Writing Products in terms of Syntactic Complexity	SUZUKI Noriko	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017. 3)	37
英語形容詞の指導 —リメディアル教育の観点から—	熊谷 健 熊谷 由里子	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017. 3)	43
高専生が「文学」を学ぶ意義 —国際化教育の観点から—	松田 奏保	全国高等専門学校英語教育学会研究論集 36 (2017. 3)	49
The Effects of First Language on Learning an Artificial Language	MIYATA Munehiko	専修大学学会 専修人文論集 99 (2016. 11)	55
Input Frequency and the Learning of L2 Morphology	Munehiko Miyata	専修大学人文科学研究所 人文科学年報 46 (2016)	69
日本人英語学習者のモダリティ表現の使用について —“certainty”と“doubt”を表す副詞—	藤本 和子	創価大学英文学会 英語英文学研究 81 (2017. 12)	85
Supporting the Maintenance of Global Coherence With Situational Instruction: Evidence From Eye Movements During EFL Reading	USHIRO, Yuji HOSODA, Masaya MORI, Yoshinobu TADA, Go KIMURA, Yukino	大学英語教育学会 ACET journal 61 (2017. 2)	93

	TANAKA, Natsumi NAKAGAWA, Hiroaki AMAGAI, Yuka		
Evidence of Effects of Text-to-Speech Synthetic Speech to Improve Second Language Learning	MATSUDA, Noriko	大学英語教育学会 ACET journal 61 (2017. 2)	103
Moodle・WBT・反転授業による学習者主体のライティング授業	榎 田 一 路	大学英語教育学会中国・四国支部研究紀要 13 (2016. 3)	112
Managing an EFL Free Writing Course: Students' Perceptions of the Course and Reactions to Teacher Feedback	Akira Iwata Akio Suzuki	大学英語教育学会北海道支部 Research Bulletin of English Teaching 13 (2017)	120
英語の歌を主教材にした授業におけるスキル別および全体的上達感覚	静 哲 人	大東文化大学外国語学会 外国語学会誌 46 (2017. 2)	133
Personal Report of Communication Apprehension(PRCA-24)を用いた質問紙調査における肯定的表現もしくは否定的表現を含む項目への大学生の反応	物 井 尚 子	千葉大学教育学部研究紀要 64 (2016. 3)	139
The Effectiveness of Using Drama in a First year University English Communication class	HORNE Beverley	千葉大学教育学部研究紀要 64 (2016. 3)	143
国語教科書と英語教科書における文法用語に関する基礎的調査	安 部 朋 世 神 谷 垣 知佳子 西 山 義 徳 小 山 義 徳	千葉大学教育学部研究紀要 65 (2017. 3)	148
英語文法項目系統表作成の試み 一名詞・形容詞・副詞・接続詞を中心に	神 谷 昇 西 垣 知佳子 安 部 朋 世 小 山 義 徳	千葉大学教育学部研究紀要 65 (2017. 3)	151
小・中・高生のためのデータ駆動型の英語語彙・文法学習支援ウェブサイトの構築	西 垣 知佳子 中 條 清 美 神 谷 昇 小 山 義 徳 安 部 朋 世 物 井 尚 子 横 田 梓	千葉大学教育学部研究紀要 65 (2017. 3)	156
小・中英語教育の接続におけるデータ駆動型の英文法指導の実践とICT活用の可能性	西 垣 知佳子 大 木 純 義 小 山 一 徳 神 谷 昇	千葉大学教育学部研究紀要 66-1 (2017. 12)	161

	石井 雄隆 安部 朋世 物井 尚子 ホーン・ ベバリー 中條 清美		
入学試験区分による経時的データに基づいた大学初年次学生の英語力の分析	横山 悟	千葉科学大学紀要 9 (2016.2)	167
Generation effectとTesting effectを援用した大学英語教育における補講の効果： 項目反応理論による分析	横山 悟	千葉科学大学紀要 9 (2016.2)	172
英語PLTの比較研究—その2—	宮田 学	中京大学 教師教育論叢 6 (2017.3)	175
English language learning and the use of articles by L1 speakers of Japanese	NEUPANE Pramila FUJITA Ryoko KUMARI Nivedita	筑波大学グローバルコミュニケーション教育センタ ー 外国語教育論集 39 (2017.3)	184
日本人英語学習者のwh疑問文の発達指標	吉田 智佳	天理大学学報 68-2 語学・文学・人文・社会・自 然編 (2017.2)	191
日本人英語学習者にとってwh-疑問文の何が難しいか —発達指標の構築を目指した予備調査—	吉田 智佳	天理大学言語教育研究センター 外国語教育 理論 と実践 42 (2016.3)	204
大学1年生が考える「英語を学ぶ意義」	保坂 華子	東海大学紀要 文学部 107 (2017.9)	215
英語教材としての映画の可能性 —大学英語授業を例に—	シヨルティ沙織 榎木 貴之	東京大学大学院教育学研究科紀要 57 (2017)	220
アンケート調査から見た生成文法の英語科教育における活用の余地	志手 和行	東京福祉大学・大学院紀要 6-2 (2016.3)	227
Differences between English and Japanese Speakers' Use of Metadiscourse to Identify Discourse Units in English Research Article Abstracts	Akiko Hagiwara Kaoru Kobayashi Mitsuki Fukuike	東京薬科大学研究紀要 20 (2017.3)	232
A Study of University Students Who Studied Abroad for a Year —The Development of L2 Proficiency and Career Selection—	飯田 毅	同志社女子大学 総合文化研究所紀要 33 (2016.7)	237
日本語と英語のバイリンガルによる統語の学習 —コネクショニストモデルによるシミュレーション—	石崎 貴士	東北英語教育学会研究紀要 37 (2017.3)	248
否定限定詞つき主語の指導のアプローチ —大学生の受容の誤りの分析に基づいて—	桑名 保智	東北英語教育学会研究紀要 37 (2017.3)	255

Vocabulary Learning through Reading	Makiko ABE	東北英語教育学会研究紀要 37 (2017. 3)	262
Focusing on Accuracy through Analyzing Output Derived from an Open Communicative Task	Daniel NEWBURY	東北英語教育学会研究紀要 37 (2017. 3)	269
絵本の読み聞かせを取り入れた外国語活動の工夫	佐藤 初恵	東北英語教育学会研究紀要 37 (2017. 3)	276
英語教育の革新 ―スキル習得か文化学習かを超えて―	吉田 研作	東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要 3 (2017. 3)	281
学術的英語論文記述講座について	バリー カヴァナ	東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要 3 (2017. 3)	287
中学校の英語教科書を批判的に見る：なぜ学びが深まらないのか	渡部 友子	東北学院大学教養学部論集 178 (2017. 12)	290
日本人学生の英語作文能力に関する一考察 ―文法誤用と母語語干渉の観点から―	喜田 慶文	東洋大学 観光学研究 16 (2017. 3)	297
Promoting Student Engagement in the English as a Foreign Language Classroom in a Japanese University	Allyson MacKenzie	東洋大学 経営論集 86 (2015. 11)	307
English Education in Japan: (Re)Considering the Continuous Challenges in Communicative Competence	Garcia CHAMBERS	東洋大学社会学部紀要 53-1 (2015. 11)	315
Metacognitive Listening Strategy Instruction for EFL Learners	Kaya TAGUCHI	東洋大学人間科学総合研究所紀要 19 (2017. 3)	321
動詞の目的語としての不定詞・動名詞 ―中・高、および、大学の一般英語での指導の視点で―	山本 元子	常磐会学園大学 研究紀要 16 (2016. 3)	332
体系的・継続的な英語基本語の指導へ向けて	森本 俊	常磐大学人間科学部紀要 人間科学 33-2 (2016. 3)	339
技能統合型英語学習のプロセスへの学習者の関与を促す思考ツールの活用： アクティブラーニングの視点から	吉田 広毅	常葉大学教育学部紀要 37 (2017. 3)	345
ホリスティック・アプローチによる英語教育の一事例 ―外国語が自分の言葉となること―	福田 鈴子 砂子 岳彦	常葉大学健康プロデュース学部雑誌 10-1 (2016. 3)	352
Let's Get More Visual, More Physical: A Proposal for University English Education	Tagawa Kenjiro	獨協大学外国語学部交流文化学科紀要 Encounters 4 (2016. 3)	356
Demotivation of English Language Learners in Highly Competitive University Preparatory High Schools in Japan ―Based on Interviews of University Students	Mai SODENO Hiroyuki OKAZAKI	富山大学人間発達科学部紀要 10-2 (2016. 3)	365

日本人英語学習者の英語力は彼らの国語力と関連があるのだろうか。	池松峰男 和泉司 中森康之	豊橋技術科学大学 雲雀野 39 (2017. 3)	373
TOEICテストから考える中学英文法の重要性と指導内容	田中誠	長崎国際大学論叢 17 (2017. 3)	379
Metacognition in Reading —What are you thinking about what you are reading?—	Midori SHIKANO	南山大学 アカデミア 文学・語学編 100 (2016. 6)	384
The Roles of Universal Semantic Features in L2 English Article Choice by L1 Japanese Speakers	Keisuke Kume	南山大学大学院 南山言語科学 11 (2016. 3)	392
ライティングにおける英語学習者の文法ミスと複数回リライトに関する研究	J A 日下	新潟大学高等教育研究 4 (2016. 12)	403
海外語学研修・短期語学留学による英語運用能力の変化	野中辰也 関久美子	新潟青陵大学短期大学部研究報告 46 (2016. 4)	408
Effects of EFL Learners' Pronunciation Belief and Awareness on Their English Speaking Anxiety: The Case of Low-intermediate Japanese College Students	Lisa NABEI Toshinori YASUDA	日本英語英文学会 日本英語英文学 26 (2016. 12)	413
コミュニティとしてのクラス、身体知としての言語教育	横山千晶	日本英文学会 英文学研究 支部統合号 9 関東英文学研究 9 (2017. 1)	421
実践的な文型指導について副詞(句)と前置詞句をどう扱うか	松野達	日本大学歯学部紀要 45 (2017. 12)	426
使用言語による思考・表現方法の変容に関する一考察	東本裕子	日本比較文化学会 比較文化研究 118 (2015. 10)	430
英語による情報の発信と受信	渡辺博	日本薬科大学教育紀要 2 (2016. 3)	439
The Influence of Extensive Reading on Beginning EFL Students' Motivation	Yasuhiro Kuramashi	梅光学院大学論集 50 (2017. 1)	444
Krashen : The Case for Narrow Reading 「Narrow Readingの薦め」についての一考察 —特に、外国語(英語)と国語(古典)教育に関して—	田口順一	白鳳短期大学研究紀要 12 (2017)	449
学校英語教育の改革 —小学校英語教育の「早期化」「教科化」と中高英語の「授業は英語で」を考える—	上山恭男	函館英語英文学会 函館英文学 55 (2016. 3)	452
Communication Strategies and their Role in English Language Learning	Akihiro SAITO	八戸工業大学紀要 35 (2016. 3)	460
効果的な英語授業の開発：科目間連携、協同学習、反転授業による授業改善の実践	大牛英則 金野伸雄 佐々木淳 重迫和美 MOSHER David	比治山大学・比治山大学短期大学部教職課程研究 2 (2016. 3)	463

Student Preferences and Expectations in an English Classroom	Christopher Sullivan	一橋大学 言語文化 52 (2016. 1)	470
日本における早期英語教育導入に関する研究	和田 憲 明	姫路大学 教育学部紀要 9 (2016. 12)	477
外国語(英語)教育におけるチャンキング利用について ―認知科学的な視点を加えて―	若 林 節 子	姫路獨協大学 ことばの研究 8 (2016. 2)	484
教師による文学解釈が学習者の読解に与える影響	小 野 章 平 川 真 柿 元 麻理恵	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育研究 19 (2016. 3)	491
Efficacy of Theme-based Listening Materials in English Writing: Focusing on Learner Affectivity	Koji UENISHI	広島大学外国語教育研究センター 広島外国語教育研究 20 (2017. 3)	498
日本語を母語とする英語学習者による英語結果構文の容認性判断に影響を及ぼす言語的要因	平 野 洋 平	広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域 65 (2016. 12)	505
「拡大化された名詞」 ―英語教育における一方法論としての提言―	谷 岡 知 美 池庄司 英 臣	広島工業大学紀要 研究編 51 (2017. 2)	511
Extensive Reading: What it is and how we do it	John TENNANT	広島国際学院大学研究報告 50 (2017. 12)	514
多読に媒介される用法基盤第2言語発達の可能性 ―英語SVO文型に焦点を当てたテキスト分析―	戸 出 朋 子	広島修道大学 広島修大論集 56-2 (2016. 2)	521
L1 vs. L2 Acquisition: Reconciling the Differences between Childhood Language Development and Classroom Learning	Jordan Svien	広島文教女子大学紀要 51 (2016. 12)	530
日本語母語話者に対する/r/と/l/の指導法について ―日本語母語話者における/r/と/l/の知覚傾向からの考察―	中 村 太 一 渡 丸 嘉菜子	福井大学初等教育研究 2 (2016)	536
外国語教育に「多様性」という視点を導入する意義について ―多言語への関心を生む取組みに向けて―	本 田 安都子 ディラン・ ジョーンズ	福井大学初等教育研究 4 (2017)	539
Analyzing the Impact of Visual Aids on Complexity, Accuracy, and Fluency in English L2 Learners' Discourse: A Case Study	Bradford LEE	福井工業大学研究紀要 46 (2016. 7)	547
朝ドラ(「花子とアン」・「マッサン」)で学ぶ英語	森 貞	福井工業高等専門学校研究紀要 人文・社会科学 50 (2016. 12)	552
Forms of Exclusion: Linguistic, Paralinguistic and Cultural	SMALL, Lyndon	福岡大学言語教育研究センター紀要 15 (2016. 12)	563

Questions, Answers, and Learning	Alan P. Williams	福岡女学院大学英語教育研究センター The Centre for the Study of English Language Teaching JOURNAL 5 (2017. 3)	572
英語教員養成におけるアクティブ・ラーニング —「異文化理解概論」での理論と実践—	小嶋英夫	文教大学 教育研究所紀要 25 (2016. 12)	587
小学校英語教育における歌あそびの可能性	村松麻里	文教大学 教育研究所紀要 26 (2017. 12)	593
Tying Theme-based English Materials to the Four Strands —A Method of Teaching English to University Students in Japan—	Matthew Ryan BOSCH Hideyuki ASAKURA	北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要 10 (2017)	599
Communicative Language Teaching	OISHI Fumio Miguel MISION	松本大学研究紀要 15 (2017. 1)	605
Is there a positive relationship between direct online vocabulary study and improvements in TOEIC scores? A case study	John Wiltshier	宮城学院女子大学 英文学会誌 44 (2016. 3)	609
Categorizing the proposed syllabus changes for English Education in the Japanese Primary School against standard models of syllabus design.	Alison Nemoto	宮城教育大学外国語研究論集 8 (2015. 3)	614
日本人英語学習者による英語聴解とその問題点に関する考察： 語彙知識とボトムアップスキルの重要性について	榎本 暁	名城大学人文紀要 112 (2016. 9)	617
英語教育の歴史的展開にみられるその特徴と長所	小川修平	盛岡大学紀要 34 (2017. 3)	631
英語教育の主要な問題点について	小川修平	盛岡大学 比較文化研究 27 (2017. 3)	638
功利主義的教育観の展開 —広島英語学校年報の分析を中心に—	岩田高明	安田女子大学紀要 44 (2015. 11)	645
オランダの英語科教員養成スタンダードに関する考察	猫田和明	山口大学教育学部 研究論叢 66-3 (2017. 1)	650
“The New Face of English” —A Reflective Analysis of the Oral 1(a/b)Course	Douglas PARKIN	山口学芸大学 山口学芸研究 8 (2017. 3)	658
第二言語習得における音韻の習得 —山梨市特区初等英語教育における母音習得の音響音声学的解析—	長瀬 慶来 長瀬 恵美	山梨大学教育人間科学部紀要 17 (2016. 3)	668
The Role of Age in L2 Acquisition	YAMASHITA Hiroshi	山梨県立大学国際政策学部紀要 山梨国際研究 11 (2016. 3)	674
使用言語が話し手に及ぼす影響 —日本語以外を母語とする複数言語話者への聞き取り調査から—	東本裕子	横浜商科大学紀要 11 (2016. 10)	678

Preliminary Reviews to Interference of Second Language Learning caused by First Language and Culture	Frederick Bacala	横浜市立大学論叢 人文科学系列 68-3 (2017)	687
Investigating Ideal L2 Selves of University Non-English Majors in an EFL Context	Chika KOJIMA TAKAHASHI	立教大学大学院 異文化コミュニケーション論集 14 (2016)	697
ドイツと日本の中等教育で使用されている英語教科書の比較分析	鳥飼慎一郎 熊谷允岐 平田瑞萌 吉田泰之 小林萌実	立教大学大学院 異文化コミュニケーション論集 15 (2017)	703
国際ビジネスコミュニケーションにおけるパワーと言語力 —英語のビジネス共通語化(BELF)の現場で働く日本人ビジネスパーソンの経験を聞く—	瀧野みゆき	立教女学院短期大学紀要 48 (2017. 2)	712
Analyzing L2 Learners' Reading Strategies through Strategy Portfolios Drawn from Sociocultural Theory: An Exploratory Investigation	KAMIJO Takeshi	立命館大学教育開発推進機構 立命館高等教育研究 17 (2017. 3)	722
英文法教育と生成文法：疑問詞・関係詞を含む複文をめぐって	吉本靖	琉球大学 欧米文化論集 61 (2017. 3)	730
A Contrastive Study of the English and the Japanese Modality Systems	Ken-Ichi KADOOKA	龍谷大学 国際社会文化研究所紀要 19 (2017. 6)	741
戦後日本における小学校英語教育政策の変遷と問題点	松岡翼 江利川春雄	和歌山大学教育学部紀要 人文科学 67 (2017. 2)	749
Whole-Brain-Based Oral Reading: A Study on Teaching English as a Second Language	MIYAZAWA Masayuki Massey	和光大学 表現学部紀要 16 (2016. 3)	753
English-medium Degree Programs in Internationalization of Japanese Universities: Conceptual Models and Critical Issues	Sae Shimauchi	早稲田大学アジア太平洋研究センター アジア太平洋討究 29 (2017. 10)	766

英語学論説資料 第51号

収録論文一覧

2019年6月30日発行

東京都板橋区向原3-10-2

論説資料保存会

代表者 常盤浩行

英語学論説資料 第51号 発行日

第1分冊 2019年6月30日

第2分冊 2019年6月30日

第3分冊 2019年6月30日

第4分冊 2019年6月30日

第5分冊 2019年6月30日

第6分冊 2019年6月30日